

#### 4. 研究

##### ① 学内研究費

本学の研究費（旅費を含む）は大学データ集の表 20 から 22 で示しているが、以下は表 9、表 10、表 11 として大学データ集の表 20 から 22 の概略を表示している。

これらデータから、次のとおり、自己点検・評価する。

- A) 表 9 から、総額として 7 億円近く（一人約 2 百万円）の研究費を支給していることが分かり、教員の研究活動に対し、十分に支援を行っていると言える。
- B) 表 9 において、学部・研究科間で一人あたりの金額が異なるのは、大学院資格を有する教員であるかどうか、また、研究科間における大学院在籍学生数の多少で、金額が異なるのがその理由である。
- C) 表 10 のとおり、学内研究費とは別に旅費を設定していることは、研究活動支援として良い取組みと言える。
- D) 表 11 のとおり、競争的な研究費を設定し、ピアレビュー方式による審査を行い、審査員からのコメントをフィードバックしていることは、教員（申請者）の研究意欲を高めるとともに研究計画の改善に繋がり、良い取組みと言える。

（表 9）

【大学データ集の表 20（学内研究費）を基に作成（2013（平成 25）年度実績）】

学部・研究科	総額(円) A	総額(円) B	専任教員数(人) C	教員1人あたりの額① (A/C)	教員1人あたりの額② (B/C)
未来科学部・未来科学研究科	140,848,408	54,944,938	68	2,071,300	808,014
工学部・工学部第二部・工学研究科	265,170,989	82,683,869	123	2,155,862	672,227
理工学部・理工学研究科	202,855,935	67,894,662	115	1,763,965	590,388
情報環境学部・情報環境学研究科	75,208,627	21,655,632	45	1,671,303	481,236
その他（大学・研究所等）	162,709	162,709	3	54,236	54,236
合計・平均	684,246,668	227,341,810	354	1,932,900	642,209

※ 総額Aは、学園研究費+大学院研究費+学科関係予算

※ 総額Bは、学園研究費+大学院研究費

（表 10）

【大学データ集の表 21（学内研究旅費）を基に作成（2013（平成 25）年度実績）】

学部・研究科	国外		国内	
	件数	総額(円)	件数	総額(円)
未来科学部・未来科学研究科	18	2,632,611	33	1,548,770
工学部・工学部第二部・工学研究科	36	4,984,940	69	3,385,690
理工学部・理工学研究科	23	3,340,391	59	2,752,638
情報環境学部・情報環境学研究科	10	1,462,763	21	1,004,640
合計	87	12,420,705	182	8,691,738

※ 国外留学上限は 150 万円と設定しているほか、学会等出張旅費として一人年 20

万円まで（年6泊まで）支給する制度を有している。

（表 11）

【大学データ集の表 22（学内共同研究費）を基に作成（2013（平成 25）年度実績）】

学部・研究科	件数	総額（円）
未来科学部・未来科学研究科	8	5,097,468
工学部・工学部第二部・工学研究科	21	23,820,546
理工学部・理工学研究科	9	5,034,063
情報環境学部・情報環境学研究科	6	4,158,607
合計	44	38,110,684

※ この表は、個人研究・共同研究問わず、申請に基づき審査を経て交付される競争的な研究費（いわゆる学内科研費）を示している。

## ② 科学研究費等の外部研究費

本学教員の研究活動により獲得した外部資金は、大学データ集の表 24 と 25 で示しているが、以下は表 12、表 13 として大学データ集の表 24 と 25 の概略を表示している。

これらデータから、次のとおり、自己点検・評価する。

- A) 表 24 から、平成 23 年度申請分からの科研費申請を促進する施策の展開により、年々申請件数は伸びているが、採択率は上下している。そのため、採択率を伸ばすため、研究計画の構想の立て方や申請書の書き方について支援する取組みを実施している。
- B) 表 25 から、学外研究費の獲得については、学部・研究科間でバラツキがあることがわかる。これは理学、工学、情報学の教員の分野の比率によるものともいえる。また、学外研究費を獲得した教員に対しては、一層の研究推進と継続的な研究意欲の維持のためにインセンティブを支給する施策を行っているが、さらに多くの教員が学外研究費を獲得するための施策展開を講ずる必要がある。
- C) 大学基礎データ、大学データ集に存在しないデータであるものの、本学における特色の一つとして、産官（公）学間の連携を挙げることができる。これは技術移転機関（TLO（Technology Licensing Organization））として、文部科学省及び経済産業省から承認を受けていることもあり、理工系大学としての強みを生かし、積極的に展開している。

(表 12)

【大学データ集の表 24 (科学研究費の採択状況) を基に作成】

学部・研究科	2011(平成 23)年度			2012(平成 24)年度			2013(平成 25)年度		
	申請件数 ①	採択件数 ②	採択率 ②/①*100	申請件数 ①	採択件数 ②	採択率 ②/①*100	申請件数 ①	採択件数 ②	採択率 ②/①*100
未来科学部・未来科学研究科	19	5	26.3	31	10	32.3	28	9	32.1
工学部・工学部第二部・工学研究科	26	3	11.5	51	14	27.5	53	12	22.6
理工学部・理工学研究科	27	6	22.2	44	3	6.8	56	9	16.1
情報環境学部・情報環境学研究科	23	6	26.1	27	8	29.6	23	5	21.7
その他(大学・研究所等)	6	2	33.3	6	3	50.0	2	0	0
合計・平均	101	22	21.8	159	38	23.9	162	35	21.6

(表 13)

【大学データ集の表 25 (学外からの研究費) を基に作成 (2013 (平成 25) 年度実績)】

学部・研究科	専任 教員数	科学研究費補助金		その他の学外研究費		合計(④+⑥)	教員一人当たりの 金額(合計/教員数)
		総額(円)④	内オーバーヘッド	総額(円)⑥	内オーバーヘッド		
未来科学部・未来科学研究科	68	39,312,535	8,670,000	114,460,664	10,619,825	153,773,199	2,261,371
工学部・工学部第二部・工学研究科	123	55,970,850	13,932,600	102,444,281	11,049,399	158,415,131	1,287,928
理工学部・理工学研究科	115	47,398,399	11,145,000	31,733,711	2,834,236	79,132,110	688,105
情報環境学部・情報環境学研究科	45	18,325,710	4,395,000	31,274,702	6,362,651	49,600,412	1,102,231
その他(大学・研究所等)	3	6,745,648	1,500,000	1,568,998	133,120	8,314,646	2,771,549
合計・平均	354	167,753,142	39,642,600	281,618,336	31,039,231	446,204,108	1,260,464